

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



しら たか 広報

平成16年度一般会計決算②
第2次行財政改革の取り組み④
第3次行革大綱を策定します⑥
平成16年度白鷹町介護保険決算⑧
平成18年度保育園児を募集します⑩
白鷹町ファミリーサポートセンター事業が
はじまります⑫
新たな白鷹町ふるさと交流大使を
ご紹介します⑰

10.12
OCT 2005
NO.930



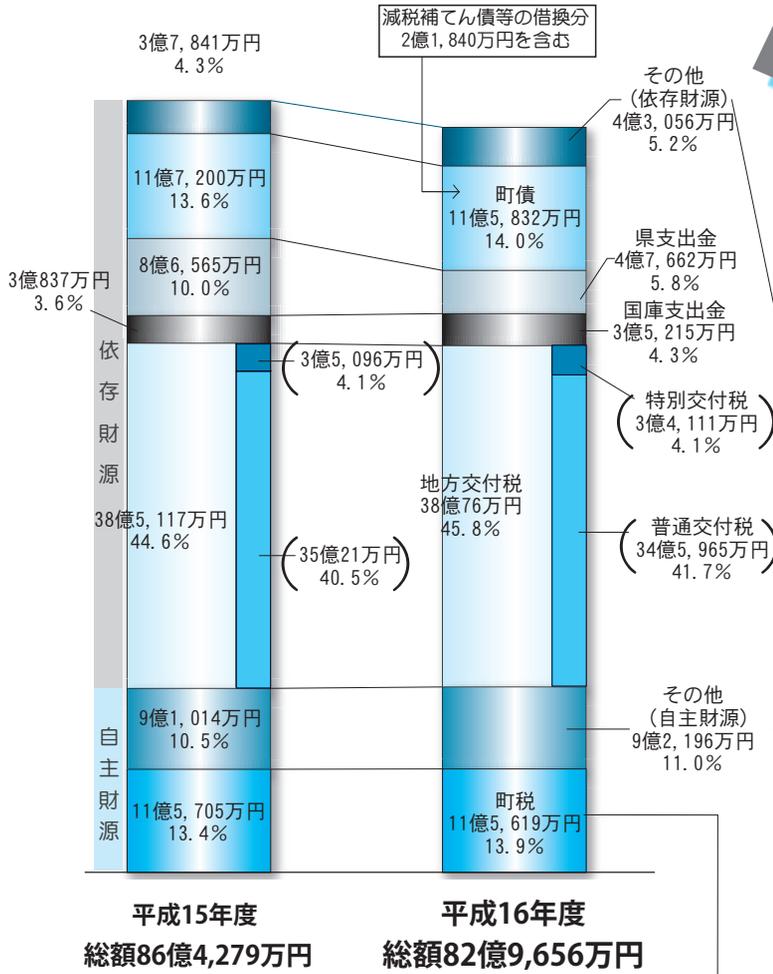
魚のつかみどり体験

9月15日、鮎貝小学校の1、2年生が箕和田地内で魚のつかみどりを体験しました。鮎貝堰土地改良区の「田んぼの学校」として行われたもので、ヤマメやニジマスなどが水路に放されました。魚の動きに素早く反応し追いつめる子、捕まえたところでツルンと魚に逃げられる子などさまざまでしたが、最後は捕まえた魚を炭火焼きにしてみんなでいただきました。

歳入総額 82億9,656万円

決算

使ったお金は
79億6,149万円



その他(依存財源)内訳

項目	金額	構成比(%)
地方譲与税	1億6,161万円	2.0
利子割交付金	1,021万円	0.1
配当割交付金	105万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	97万円	0.0
地方消費税交付金	1億6,034万円	1.9
自動車取得税交付金	5,596万円	0.7
地方特例交付金	3,724万円	0.5
交通安全対策特別交付金	318万円	0.0
小計	4億3,056万円	5.2

その他(自主財源)内訳

項目	金額	構成比(%)
分担金及び負担金	5,151万円	0.6
使用料及び手数料	1億3,066万円	1.6
財産収入	1,151万円	0.1
寄附金	1,130万円	0.1
繰入金	2億5,614万円	3.1
繰越金	3億5,763万円	4.3
諸収入	1億321万円	1.2
小計	9億2,196万円	11.0

町税内訳

項目	金額	構成比(%)
町民税	4億0,854万円	4.9
固定資産税	5億7,811万円	7.0
軽自動車税	3,428万円	0.4
たばこ税	7,718万円	0.9
入湯税	1,039万円	0.1
都市計画税	4,769万円	0.6
小計	11億5,619万円	13.9

特別会計・事業会計

項目	歳入	歳出
十王財産区特別会計	206万円	34万円
下水道特別会計	9億51万円	8億8,626万円
国民健康保険特別会計	13億4,736万円	12億9,501万円
老人保健特別会計	17億6,800万円	17億6,081万円
農業集落排水特別会計	2億308万円	2億104万円
訪問看護特別会計	5,004万円	3,677万円
介護保険特別会計	11億8,075万円	11億6,891万円
水道事業会計<収益的収支>(税抜)	3億5,315万円	3億1,607万円
水道事業会計<資本的収支>(税込)	4,711万円	1億9,652万円
病院事業会計<収益的収支>(税抜)	11億9,417万円	11億5,967万円
病院事業会計<資本的収支>(税込)	5,720万円	2億3,783万円

注) 金額等の数値は、地方財政状況調査に準じた数値を使用しています。

16年度の行財政運営は、三位一体改革等により一般財源が激減するなど非常に厳しい状況のなかで、活力ある個性豊かな地域社会を創造するため、経常経費の節減などにより一般財源を確保しながら、限られた財源のなかで重点配分を行い、着実かつ効率的な行財政運営に努めてきました。

その結果、歳入総額で4.0%、歳出総額では3.9%昨年度を下回る結果となり、収支差引3億3,507万円となりました。指標的には、財政構造の弾力性を見る経常収支比率が、経費削減に努めたものの、臨時財政対策債(臨財債)の大幅削減などで93.5%(+2.5%)となりました。借入金関係の指標となる公債費比率は20.6%(+0.2%)、起債制限比率も14.4%(+0.3%)となっており、財政健全化に向けた取り組みが必要になっています。

歳入について、町税は、町民税で個人分が給与所得の減などにより▲5.2%、一方、法人分は一部企業の収益改善等により+9.3%となり、全体では▲2.8%。固定資産税は、土地の宅地化や家屋の新増築、設備投資の増加などにより+2.3%となり、町税全体では▲0.1%の微減となりました。地方交付税は▲1.3%、地方譲与税は所得譲与税の創設により+30.9%、結果として、一般財源は前年度とほぼ同額となりましたが、臨財債が▲32.1%と激減し、これを含む一般財源は▲2.6%となりました。国庫支出金は保育園施設整備事業等により増加、県支出金は畜産振興総合対策事業の完了で大幅減少、地方債は臨財債の激減や東中学校大規模改造事業の完了などにより減少となりました。

*歳出については、次ページの「歳出を目的別にみると」を参照。

歳出を目的別に見てみると

区分 金額 前年比（一人当たり金額）

●民生費 16億3,110万円 12.3% (97,084円)

老人短期入所施設整備に対する支援や介護予防地域支援合い事業、障害者支援費制度など高齢者・障害者福祉の推進に取り組みました。子育て支援として、乳児保育など特別保育事業をはじめ町内2カ所で放課後児童健全育成事業を実施したほか、次世代育成支援行動計画の策定、ひがしね保育園大規模修繕事業に取り組みました。また、介護保険、国民健康保険、老人保健特別会計への繰出も行いました。

●衛生費 7億723万円 18.5% (42,095円)

日常的な健康づくりや疾病予防を積極的に推進するため、策定した「白鷹町健康増進計画」を具体的に推進するとともに、国保会計と連携し各種検診事業等を実施したほか、介護老人保健施設の整備を支援しました。環境保全対策については、環境基本計画に基づき環境・地球にやさしいまちづくりを推進するため、紙ごみ及びペットボトル、プラスチックなどの資源化に向けた取り組みをはじめ、不法投棄防止に向けた巡回指導、環境教育基金事業の実施など、関係団体や町民の皆さんと一体となって取り組みました。また、生活環境の改善と水質保全に向けて、合併浄化槽設置整備事業や個別排水処理施設整備事業に取り組みました。

●農林水産業費 5億3,041万円△45.6% (31,570円)

耕作放棄地の防止と地域の活性化を支援するため中山間地域等直接支払い事業を実施したほか、水田畑地化事業ややまがた園芸農業拡大推進事業などにより付加価値の高い農産物を生産するための基盤づくりに努めました。また、農林業の産地育成と町内資源をネットワークした交流促進等を図るため「食と農村交流施設」を整備しました。さらに、堆肥利用により低農薬にも対応できる土壌づくりを行い環境保全型農業の推進に取り組んだほか、各種基盤整備や農地流動化の推進、家畜排せつ物の適正処理と利用促進を図りました。林業面では、保全松林健全化整備事業などを実施したほか、森林管理道白鷹東部線の整備に着手しました。

●商工費 1億7,344万円 △16.3% (10,323円)

町内の経済状況が依然として厳しい中、商工業に対する活性化施策として、引き続き金融対策事業や工業技術力強化推進事業、白鷹サテライトオフィス設置事業、企業誘致や受注拡大に向けた支援などを行いました。また、情報産業拠点施設も引き続き2棟整備し計6棟となり、全て事業者が入居し事業活動を行っています。観光交流面では、観光4シーズン化の推進を図りました。また、白鷹町食の文化街道推進会議が「食アメニティ・コンテスト」において農林水産大臣表彰を受けたことで観光交流展開の励みとなりました。町制施行50周年を記念して「白鷹町ふるさと交流大使」を委嘱し、情報提供や提言等をいただきました。

●土木費 9億3,030万円 △16.6% (55,372円)

佐野線など幹線町道や生活関連町道を計画的に整備するとともに、除雪等により冬期間の交通の確保を図りました。また、国道や主要地方道など県事業に対する負担も行いながら幹線道路網の整備に努めてきました。鮎貝まちづくり事業については、鮎貝土地区画整理組合の事業と連動して、町道大町西神明町線や桐町天狗林線を整備するとともに、県施工の都市計画道路荒砥鮎貝線等の事業推進を図ってきました。このほか、生活環境の改善と水質保全に向けて下水道特別会計への繰出も行いました。

●教育費 5億5,082万円 △28.8% (32,785円)

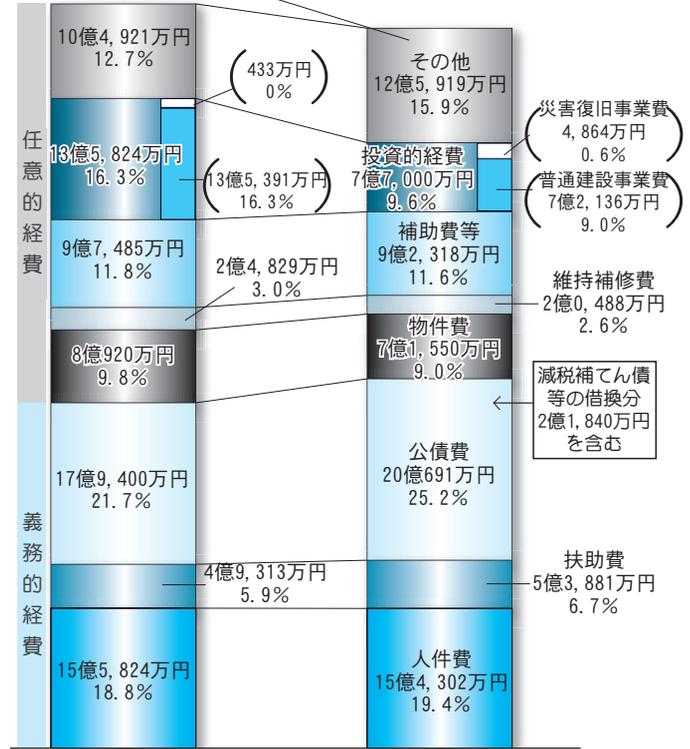
小学校における少人数指導への対応、総合的な学習の推進、外国青年招致事業や教育相談事業などに取り組んできました。また、小中高連携の中でキャリア教育の推進を図るとともに、荒砥高校の活性化に向けた支援も行いました。生涯学習・スポーツ面では、体験活動や分館活動を推進する地域の子ども育成支援事業や町民主体の白鷹学講座、住民主体の地区公民館運営への移行準備、学び舎のうたCD製作支援等を行ったほか、町民プール改修や各種スポーツ大会の開催などを行いました。文化振興面では、伝統芸能保存事業として「高玉芝居」の定期公演を開催したほか文化財保護調査事業などを行いました。

●その他 34億3,819万円 8.6% (204,641円)

総務費では、町制施行50周年記念事業の開催、町役場などでのISO14001認証取得、協働のまちづくり行動計画の策定、後期過疎地域自立促進計画の策定、(仮称)男女共生交流センター整備構想の策定、減債基金・公共施設整備基金の積立などを行いました。消費費では、西置賜行政組合への負担金のほか防火水槽など消防施設の整備を行いました。災害復旧費では、7月の集中豪雨での道路や河川、農地、林業、観光等の施設の災害復旧に対応しました。これらのほか議会費（議会を運営するための費用）、労働費（勤労者を支援するための費用）、公債費（借入金返済）に使われました。

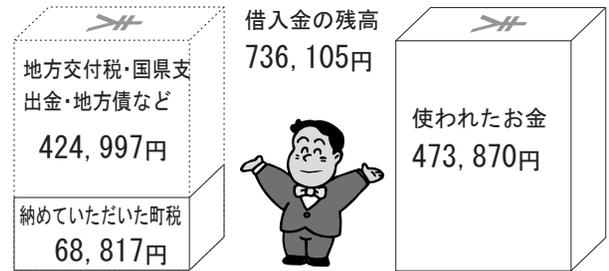
歳出総額 79億6,149万円

その他内訳	金額	構成比 (%)
積立金	1億5,688万円	2.0
投資及び出資金、貸付金	2億2,080万円	2.8
繰入金	8億8,151万円	11.1
小計	12億5,919万円	15.9



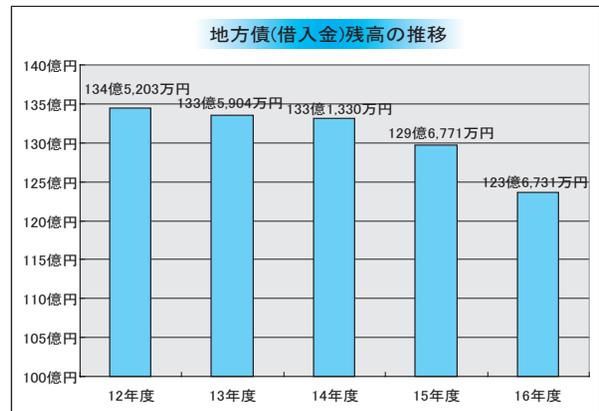
平成15年度 総額82億8,516万円
平成16年度 総額79億6,149万円

町民一人あたりで見ると(一般会計分)



町民一人あたりの金額は、平成17年3月31日現在の

町の住民基本台帳人口16,801人で割ったものです。



行 革

第2次行財政改革の取り組み

～4年間の実績～

町では、平成13年度から平成17年度までを計画期間とした「第2次白鷹町行財政改革大綱」を策定し、行財政改革に関する様々な取り組みを行ってまいりました。今回、平成17年度から平成21年度までを計画期間とする第3次行財政改革大綱（集中改革プラン）を策定することから、平成13年度から平成16年度までの4年間の第2次行革の取り組み実績としてまとめました。主な取り組み内容や成果は以下のとおりです。

●事務事業の見直し

- ・移動町長室の開催（15回開催）や広報直通便（206件）による行政ニーズの把握を行いました。
- ・毎週月曜日の役場業務延長による住民サービスの拡充を図りました。（H14.10から全職場で実施）
- ・病院事務の民間委託を実施しました。
- ・庁内情報ネットワークの活用による事務の効率化を図りました。

●組織機構の見直し

- ・建設課と上下水道課の統合をはじめとした課・系の統合を実施しました。
- ・地域主体の地区公民館の運営を平成17年度から実施しています。
- ・各種審議会への女性登用率の向上を図りました。（H13 25.45% → H16 29.10%）

●定員管理及び給与の適正化

- ・収入役ポストを廃止しました。
- ・退職勧奨や退職不補充による職員の削減を実施しました。＜一般会計の職員17名削減（-8.9%）＞

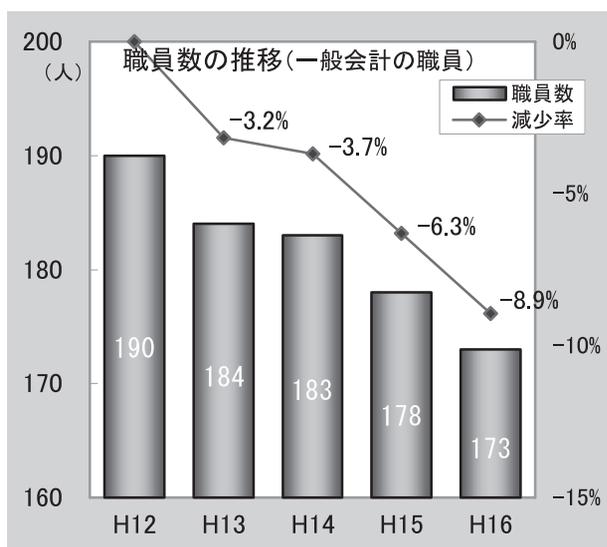
（効果額① 1億7,800万円）

*収入役ポスト廃止分含む

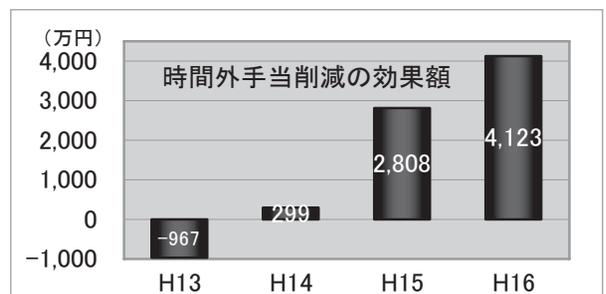
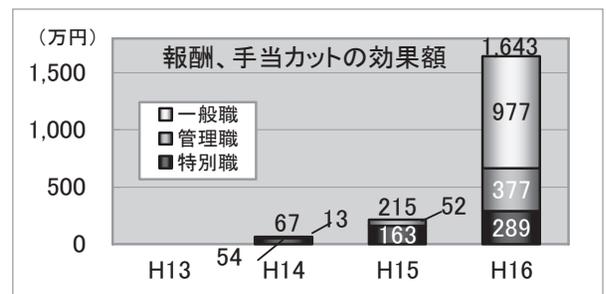
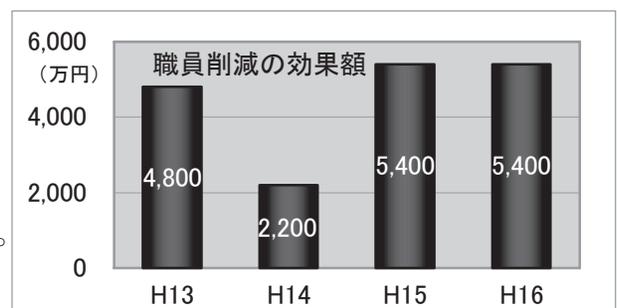
- ・特別職の報酬カットや職員手当のカットを行いました。
- ・時間外手当の削減を図りました。

（効果額② 1,925万円）

（効果額③ 6,263万円）



*「一般会計の職員」には、病院・上下水道・介護保険・訪問看護・国保事業など特別会計の職員は含まれません。



●職員の能力開発

- ・人材育成基本方針を策定しました。(H16.3月策定)
- ・接遇研修、公務員倫理研修、政策研修など職員研修の充実を図りました。
- ・平成16年度より職員提案制度を実施しました。

●行政の情報化の推進

- ・各種申請書のダウンロードサービスの開始など町ホームページを充実しました。

●財政の健全化

- ・補助金の見直しを図りました。

(効果額④) 3,917万円

- ・物件費(経常的なもの)の削減に努めました。

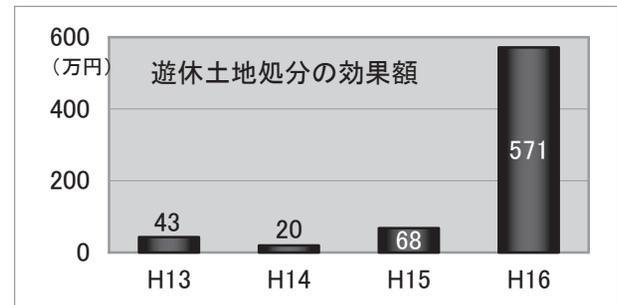
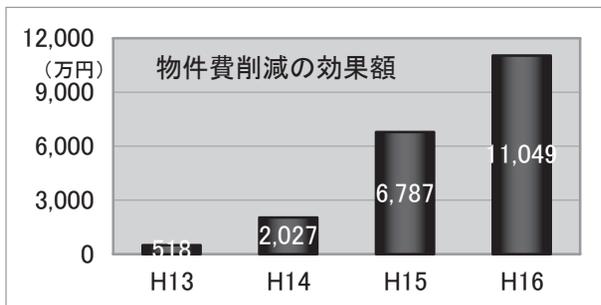
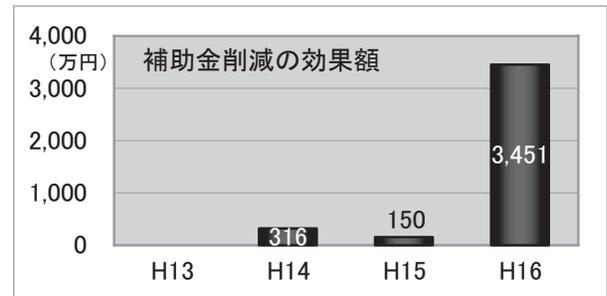
(効果額⑤) 2億381万円

- ・特別会計への繰出し金を見直しました。
- ・遊休資産等の処分を行いました。

(効果額⑥) 702万円

- ・公共工事の建設コスト削減に努めました。

(効果額⑦) 2,080万円



●その他

- ・白鷹町自立のまちづくり計画を策定しました。(H17. 2月策定)
- ・白鷹町協働のまちづくり条例を制定しました。(H16. 3月制定)
- ・環境ISOの認証を取得しました。(H16. 9月取得)

以上の取り組みの結果、平成13年度から平成16年度までの4年間で

総額 5.3 億円 (一般会計分) の効果額となりました。
(効果額①～⑦の合計)

しかし、「事務事業評価システムの導入」「係制の見直し」「民間企業等との人事交流」「外部委員による補助金検討委員会の設置」「経常収支比率87%目標」など、実施または達成できなかった項目もあります。

これらの課題も踏まえて、平成17年度からの第3次行革大綱を策定してまいります。次ページには第3次白鷹町行財政改革大綱の中間報告(概要版)を掲載しています。

*第2次行革の成果については、白鷹町ホームページの「行財政改革」コーナーの「第2次行財政改革の進捗状況」にも掲載していますのでご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.town.shirataka.yamagata.jp/osirase/gyoukaku/gyoukaku-top.htm>

自立

していくために！

本町の財政環境は、かつてない厳しい時期を迎えており、さらに地方分権の推進による自己決定、自己責任、自己負担の原則を踏まえた効率的な行政運営が求められています。

このような状況のなか、町民ニーズに的確に対応し一定のサービスを確保しながら、更なる改革を進めていく必要があります。本大綱は、白鷹町として自立していくために、国が示した行革指針に基づく「集中改革プラン」として今年11月を目途に策定するものであります。

第3次白鷹町行財政改革大綱（中間報告） - 概要版 -

○大綱の目指す姿 「協働と参画による心豊かで誇り高い自立のまちづくり」

○推進期間 平成17年度から平成21年度までの5年間

○基本方針

1. 変革の時代に対応する効率的な行財政基盤の確立
2. 町民との協働によるまちづくりの推進

○改革の取組み

1. 変革の時代に対応する効率的な行財政基盤の確立

(1) 組織・機構の見直し

簡素で効率的な組織体制の構築に努めるとともに、各課の目標を明確にし、情報を共有してマネジメントシステムによる業務を行います。また、組織の総合的な力が発揮される職場風土を構築します。

(2) 職員の定員管理

民営化、民間委託の推進や組織・機構の見直し、事務事業の見直しなどにより、定員適正化計画を見直し人件費を抑制します。

目標 職員 32人削減 △12.5%
(H16～H22)

(3) 人事給与制度

職員の能力、責任に応じた給与制度への転換や人事評価システムの導入を検討します。また、退職時の特別昇給の見直しや特殊勤務手当のあり方について見直します。

(4) 職員の資質向上

各職員が自ら課題を設定し、課題解決できるよう計画的な研修を行っていきます。また、職員の経験年数、職制に応じた達成能力を明らかにし、職員の能力開発を推進します。

(5) 事務事業の見直し

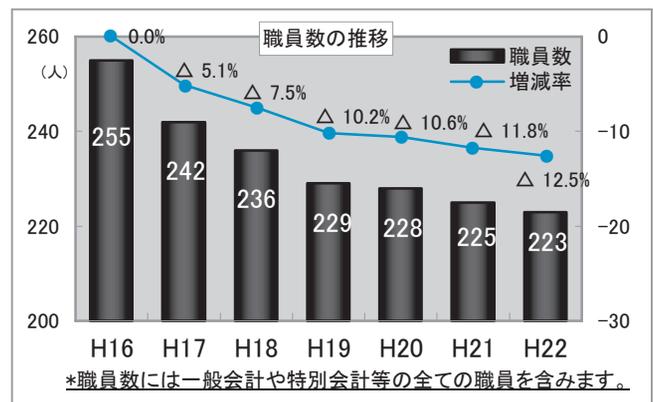
①事務事業の見直し

行政評価システムの導入検討や事務事業の再編・整理や廃止・統合を図るとともに、終期の設定などを検討します。また、環境ISOによるマネジメントシステムを推進し継続的な事務事業の改善を行います。

②民営化、民間委託の推進

保育園については、保育ニーズの多様化、園児・職員の減少に対応するため、民営化を推進します。また、施設の老朽化などの課題を整理しながら推進します。

学校給食共同調理場については、職員の年齢構成が幅広いことや施設の老朽化、保育園の民営化などの課題を抱えており、それらの課題を整理しながら民営化の推進を図ります。



現在、管理を委託している公共施設は平成18年度より指定管理者制度に移行し、直営で管理している施設でも民間活力によりサービスの向上が図られるものは制度の導入を検討します。

目標 保育園1園を平成20年度より民営化

学校給食共同調理場を平成23年度より民営化

③公共工事の見直し

建設副産物の他工事への流用や再生骨材の利用などにより公共工事のコスト削減を図ります。また、入札の透明性を図るために入札予定や入札結果などの情報を町ホームページ上で公開します。

(6) 電子自治体の推進

県と市町村が連携し、電子申請システムが構築されることから、低廉なコストで質の高い町民サービスの向上に努めていきます。また、白鷹町地域情報化推進構想を見直すとともに、役場内の情報ネットワークによる内部情報の共有やペーパーレス化を図ります。

(7) 公共施設の配置と管理の見直し

社会情勢の変化や町民ニーズ、利用者に配慮しながら施設の統廃合や機能転換を検討します。また、施設の管理については、指定管理者制度の導入などにより管理の見直しを図ります。

(8) 財政及び公営企業等の健全化

財政の健全化については、「白鷹町自立のまちづくり計画」に基づき、歳入・歳出全般にわたる見直しを行います。病院事業、水道事業の公営企業等についても、経営の健全化を図るとともに、財務・給与等の情報を公表していきます。

(9) 第三セクターの見直し

第三セクターの経営健全化については、経営形態の見直しや組織機構のスリム化を図るなど、検討が必要です。また、事業内容、経営状況などの積極的な情報公開に努めます。

(10) 地方公社の経営健全化

土地開発公社の経営健全化計画を策定し、長期保有用地の処理など経営改善に努めます。

2. 町民との協働によるまちづくりの推進

(1) 情報提供の推進

行政に関する情報は町報や町のホームページを通し、わかりやすく積極的に提供していくとともに、町民との双方向のコミュニケーションが図られる機会をつくるなど情報の共有に努めます。

目標 広報モニター (H17～)、 広報レポーター (H19～) の設置

(2) 町民の参画機会の拡充

町民の意見を施策の計画段階から取り入れ、町政に反映させるなど、参画機会の拡充を図ります。また、多くの町民が協働型まちづくり事業への参画が可能となる事業の工夫や協働の意識醸成に取り組みます。

目標 審議会委員への応募率 70%、 審議会委員の女性登用率 40%

(3) 町民との協働の推進

NPO等の育成を図るとともに、協働のまちづくりを推進するために庁内に協働のまちづくり担当を置き、協働の視点での政策立案能力の向上や協働の意識醸成など職員の意識改革に取り組みます。

目標 認可NPOの設立 2団体

第3次行革大綱（中間報告）の全文については、役場政策改革課、中央公民館及び各地区公民館、町ホームページ（行財政改革コーナー）でご覧いただけます。

また、この大綱に対して、町民の皆さまからご意見をいただくパブリックコメントを行いますので、ご意見をお寄せください。意見の提出は10月31日（月）を締め切りとさせていただきます。パブリックコメント制度については、「広報しらたか7月12日号」をご覧ください。

■問い合わせ 政策改革課行財政改革係（☎85-6124）

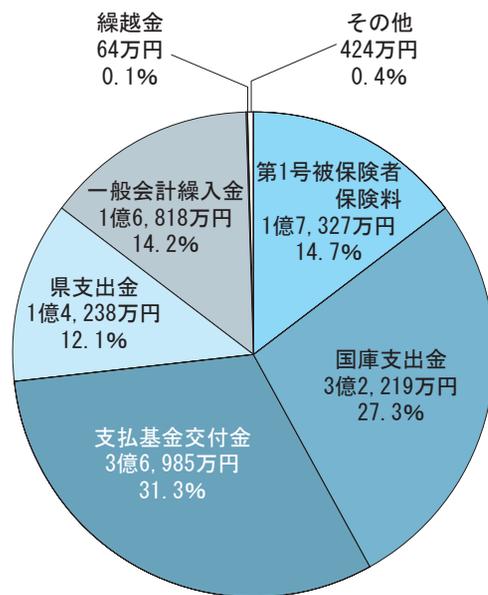
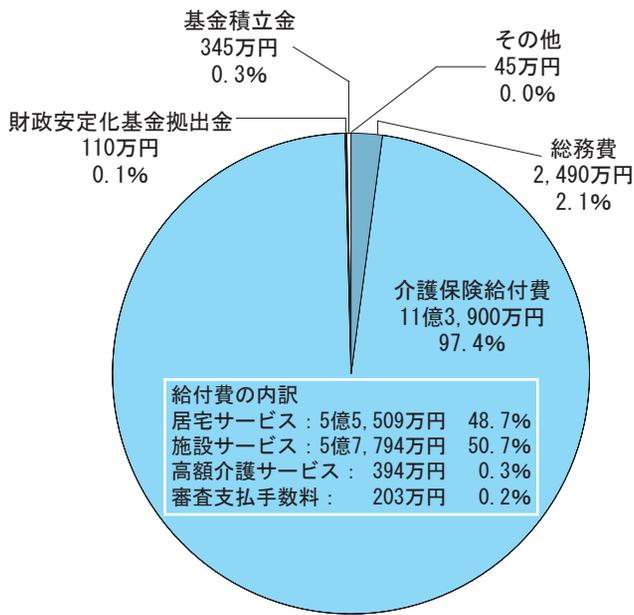
白鷹町の介護保険

平成16年度決算

平成16年度の白鷹町介護保険特別会計は、歳入総額11億8075万円、歳出総額11億6890万円となりました。介護保険給付費は、認定者サービス利用者の増加で11億3900万円、昨年度から9・2%の伸びとなりました。65歳以上のかた（第1号被保険者）約4910人から町が直接いただいた介護保険料は、1億7327万円でした。第1号被保険者で、75歳以上のかた（後期高齢者）が74歳未満のかた（前期高齢者）の数を上回り、今後その傾向は続くため、要介護認定を受けるかたの増加が懸念されます。認定者の増加、保険給付の増加は、40歳以上のかたにご負担いただく介護保険料に直接影響を及ぼします。介護予防・重度化防止の取り組みを進め、皆さまが安心と信頼できる制度づくりに努めます。これからもご理解とご協力をよろしくお願いします。

歳出：11億6,890万円

歳入：11億8,075万円



要介護等認定者数などの比較（年平均）

	前期高齢者 (65～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)	要介護等 認定者数	介護サービス 利用実人数	利用率 (利用者÷認定者)	居宅サービス 利用者数	施設サービス 利用者数
平成16年度末	2,267人	2,636人	789人	705人	89.4%	539人	177人
平成15年度末	2,382人	2,542人	785人	689人	87.8%	538人	155人

※同一月の居宅・施設両サービス利用者があるため、両サービスの合計と介護サービス利用実人数は一致しません。

介護保険給付費の内訳

●施設サービス費

サービスの種類	サービスの内容	支出額	比率
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	常に介護が必要で自宅での介護が困難なかたが入所し、介護などの日常生活の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。(町内施設：白光園)	4億1,412万円	71.7%
介護老人保健施設 (老人保健施設)	病気やけがなどの治療後、リハビリテーションなどを必要とするかたが入所し、医学的管理下における、介護、看護、リハビリテーションなどが受けられます。(町内施設：白鷹あゆみの園)	1億5,201万円	26.3%
介護療養型医療施設	長期にわたって療養が必要なかたが入所し、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護などの世話、リハビリテーションなどが受けられます。(町内施設：なし)	1,181万円	2.0%
施設サービス費合計		5億7,794万円	100.0%

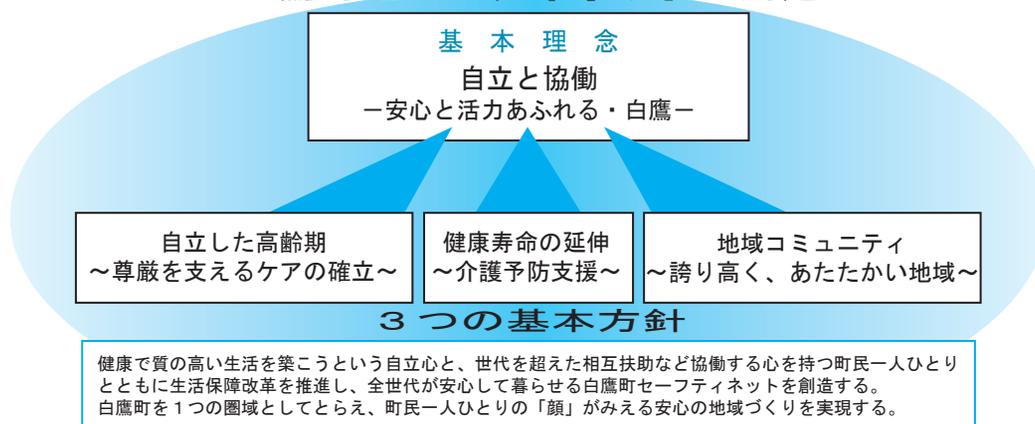
■介護保険に関するご意見、お問い合わせ 健康福祉課介護支援係 (☎86-0112・0213)

白鷹町第4期高齢者保健福祉計画及び第3期介護保険事業計画を策定します

少子高齢化に歯止めがかからないなかで、人口減少、地域活力の低下、年金、医療保険や介護保険など社会保障の維持への不安が高まっています。次世代育成支援と高齢者対策はどちらも欠かせない町の重要な取り組みです。

町では、これまで、町の保健・医療・福祉事業に関し審議をいただく場である「白鷹町明るい健康都市づくり推進会議」(委員17人：議会、医師、区長会、教育関係、商工会、保健福祉団体等の町内各層の代表者と公募による委員で構成)に、これまでの介護保険や他の福祉施策等の状況などについて報告・説明し、審議をいただきながら、平成18年度から20年度までの3カ年を計画期間とする「白鷹町第4次高齢者保健福祉計画及び第3期介護保険事業計画」の策定作業を進めており、このたび基本理念・基本方針についてまとめました。

白鷹町セーフティネットの創造



※計画の具体的な施策や保険給付の推計値などは、現在検討中であり、今後随時お示しします。

● 居宅サービス費

サービスの種類	サービスの内容	支出額	比率
訪問介護	ホームヘルパーが訪問して入浴、排泄、食事などの介護をします。	7,301万円	13.2%
訪問入浴介護	浴槽を積んだ浴槽車が自宅を訪問し、入浴サービスを行います。	164万円	0.3%
訪問看護	看護師が自宅を訪問し、看護などを行います。	2,673万円	4.8%
訪問リハビリテーション	専門職が自宅を訪問し、リハビリテーションを行います。	174万円	0.3%
通所介護(デイサービス)	デイサービスセンターなどに通い、入浴・食事の提供などを受けます。	1億5,098万円	27.2%
通所リハビリテーション	介護老人保健施設などに通い、リハビリテーションを行います。	6,395万円	11.5%
福祉用具貸与	貸与の対象として定められた福祉用具の貸付を受けます。	3,648万円	6.6%
短期入所介護(ショートステイ)	特別養護老人ホームや老人保健施設などに短期間入所し、入浴、排泄、食事などの介護や機能訓練を受けられます。	1億1,004万円	19.8%
居宅介護支援	ケアマネジャーが利用計画の作成などのケアマネジメントを行います。(利用者負担なし)	5,256万円	9.5%
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが療養上の管理や指導を行います。	789万円	1.4%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	比較的安定した認知症のかたが共同生活をする住居において、入浴、排泄、食事などの介護が受けられます。	1,865万円	3.3%
特定施設入所者生活介護	有料老人ホームなどで入浴、排泄、食事などの介護が受けられます。	484万円	0.9%
福祉用具購入費 住宅改修費	保険対象となる福祉用具の購入や住宅改修を行い、後で費用の9割を町から払い戻しを受けます。	658万円	1.2%
居宅サービス費合計		5億5,509万円	100.0%

● その他

種類	内容	支出額
高額介護サービス費	1カ月の利用者負担額が、一定の上限額(一般世帯は37,200円)を超えた場合、超えた分が払い戻されます(申請が必要です)。	394万円
審査支払手数料	介護サービス事業者からの請求等についての審査・支払いなどに関する事務を国保連合会に委託しており、その手数料を支払います。	203万円



平成18年度

保育園児を募集します

◆ 保育園入所対象児童は

家庭の都合により、家庭で保育できない状態にある乳幼児です。

◆ 申し込み方法

初めて保育園に入所するお子さんの場合（新規）

① 申込書など関係書類を保育園または健康福祉課児童係で受け取る。

② 必要事項を書いて書類等の準備をする。不明な点は、提出する時にご相談ください。

③ 期日まで健康福祉課児童係へ書類等を提出する。

入所申込書と関係書類を表2の日程で受け付けます。入所申込書は、各保育園及び健康福祉課児童係に準備してありますので、各自お取り寄せください。

また、現在、入所しており、引き続き保育を希望する場合は、今回の申し込みは必要ありませんが、保育園を通じ「世帯状況調査」などの提出をお願いします。

現在の保育園から、ほかの保育園に入所される場合は、新規の申し込みをお願いします。

◆ 保育料は

国の定める基準に基づき保護者の所得状況と児童の年齢により決まります。

平成17年度の保育料は表3のとおりです。

◆ 入所承諾は

2月頃に文書にて通知します。（すでに就学前まで承諾されているかたには通知いたしません。）

* 4月から入所を希望されるかたはこの期間に忘れずにお申し込みください。

表1 募集内容と保育サービス

施設名	定員	対象	保育サービス	保育形態
こぐわ保育園	90	3～5歳	時間延長保育（ただし、土曜日の午後は除く）、一時保育	異年齢混合保育（3、4、5歳）
あゆかい保育園	120	0～5歳	時間延長保育、乳児保育（産休明け保育含む）、一時保育	異年齢混合保育（3、4、5歳）
よつば保育園	90	0～5歳	時間延長保育、乳児保育（産休明け保育含む）、一時保育	年齢別保育
ひがしね保育園	90	3～5歳	時間延長保育（ただし、土曜日の午後は除く）、障害児保育、一時保育	異年齢混合保育（3、4、5歳）
あらと保育園	150	0～5歳	時間延長保育、一時保育、乳児保育（産休明け保育含む）	年齢別保育（0、1、2、5歳） 混合保育（3、4歳）

* 対象児童年齢は、平成18年4月1日現在のものとします。

* 一時保育については、各施設の入所対象児童と同年齢の児童とします。

「入湯税」ってなに？



入湯税は町内の温泉（鉱泉浴場）を利用した人が負担する税金で、経営者が料金と一緒に徴収し、

町に納付します。この税は目的税で、環境衛生施設や鉱泉源の保護管理施設・消防施設・観光施設などの整備及び観光の振興に要する経費にあてるなどその使い道が定められています。

平成16年度は、約1千38万円の収入があり、鉱泉源の管理や消火栓設置、観光振興のために活用されました。現在、町内では2つの温泉施設が営業を行っており、利用された皆さんからお預かりした入湯税が町財政の貴重な収入となっています。

しかし、残念なことに入湯客の減少により、前年度に比べ約110万円の減収となりました。

寒さの増すこれからの季節、温まりに、疲れた体を癒やしに、ぜひ町内の温泉をご利用ください。

●税額

宿泊した入湯客1人一泊につき 150円
日帰りの入湯客1人一日につき 100円

●課税されない人

12歳未満の人や、学校が教育活動として実施する行事に参加する生徒等などは課税されません。

■問い合わせ

町民税務課町税係（☎85-6132）

金融機関が破綻したら、預金はどうなる？

預金保険制度（ペイオフ本格実施）

平成17年4月以降は、当座預金や利息の付かない普通預金は「決済用預金」として全額保護され、定期預金や利息の付く普通預金などは、1金融機関につき預金者1人当たり、元本1000万円までとその利息が保護されます。

「決済用預金」など詳細については、金融機関の窓口にお問合せください。

表2 申し込みの受付日時と場所

受付場所
健康福祉課児童係 (健康福祉センター内) ☎ 86-0212
受付日時
11月1日(火)～14日(月) 午前8時30分～午後5時

*土・日・祝日を除く。月曜日は夜7時まで

表3 平成17年度保育料

世帯の課税状況	3歳未満児	3歳以上児
生活保護世帯	0円	0円
町民税・所得税非課税世帯	8,000円	5,000円
町民税課税・所得税非課税世帯	17,000円	14,000円
所得税課税世帯	25,000円 ～50,000円	19,000円 ～36,000円

*1世帯から2人の児童が入所する場合は、1人は半額に、3人以上が入所する場合は、1人は半額、もう1人は10分の1の額となります。



問い合わせ

健康福祉課児童係
(健康福祉センター内・☎86-0212)

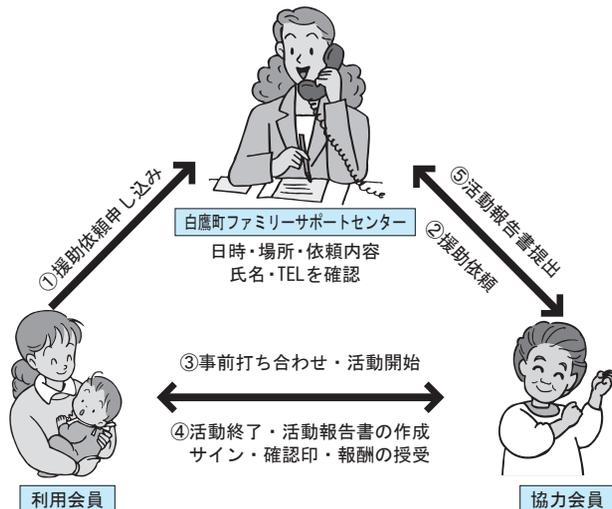
18年度から

子育てを地域みんなで支えよう！

白鷹町ファミリーサポートセンター事業が はじまります

ファミリーサポートセンターとは

子育てのお手伝いを受けたいかたと、子育てを応援できるかたで構成される会員組織で、その会員相互により子育ての援助活動を行います。



問い合わせ
健康福祉課児童係
(☎86-0212)

会員は…

- **利用会員** (子育てのお手伝いを受けたいかた)
白鷹町内在住のかたで、概ね小学校低学年以下の子どもを保護者
- **協力会員** (子育ての応援ができるかた)
白鷹町内在住のかた
- **両方会員**
利用会員と協力会員の両方を兼ねることもできます。

援助の内容は…

- たとえば…
- 保護者のやむを得ない事情により、子どもを預かる。
 - 保護者の出勤・出張等仕事の都合で子どもを預かる。
 - 保育園や学校までの送迎等を行う。
- など…

利用料金

援助を受けた後、利用会員が協力会員に支払います。

保険は…

活動中の事故に備えて、財団法人女性労働協会を保険契約者とするファミリーサポートセンター補償保険に加入します。

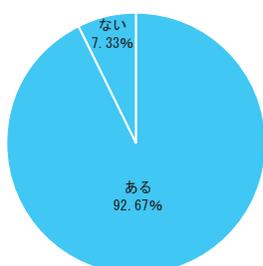
アンケート結果

8月に子育て中の保護者や地域のかたを対象に、ファミリーサポートセンターに関する意向調査を実施しました。

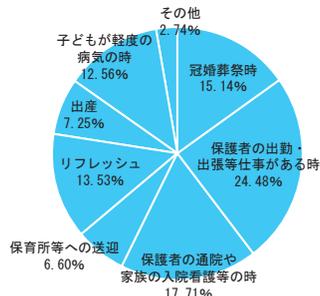
	配布数	回答	回収率
保護者	489人	291人	59.5%
地域	70人	45人	64.0%

子育て中保護者

子育て中に他の人の手を借りたいと思う時がありますか

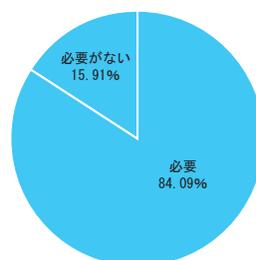


どんな時に手助けが必要と感じますか

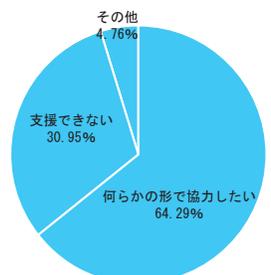


地域のかた

地域で子育てを支え合う体制について



地域の皆さんの子育て支援の協力について



※ご協力ありがとうございました。なお、調査結果については、児童係かホームページでご覧いただけます。

10月は土地月間です

一定面積(※)以上の土地取引には
届出が必要です
届出は契約後の
2週間以内にしましょう

■土地取引届出及び地価調査への問い合わせは政策改革課政策企画係(☎85-6123)へどうぞ

※一定面積とは？

(届出の必要な土地取引)

(1) 都市計画区域

5,000㎡以上
(5反歩)



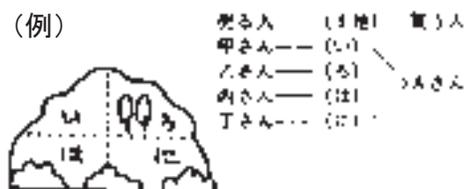
(2) 都市計画区域以外の区域

10,000㎡以上
(1町歩)



◇一団の土地取引についても届出が必要です。

(例)



(いろいろは4区)は一定面積

届出の必要な取引

- 売買
- 交換
- 営業譲渡
- 譲渡担保
- 代物弁済
- 共有持分の譲渡
- 地上権、賃借権の設定、譲渡
- 予約完結権、買戻権など譲渡

1. 対前年度変動率 (%)

	住宅地	商業地	準工業地	工業地	調区内宅地
山形県平均	-4.7	-7.3	-6.0	-6.4	-3.8
白鷹町平均	-3.5	-7.0	-	-9.1	-

2. 白鷹町基準地価格

基準地の所在	今年価格 (円/㎡)	前年価格 (円/㎡)	変動率 (%)
大字荒砥甲字長表五788番23(仲町公民館付近)	20,300	20,800	-2.4
大字鮎貝字八幡一1104番4 外3筆(新野医院付近)	10,900	11,500	-5.2
大字十王字本宿2934番1(本宿7町内)	10,000	10,300	-2.9
大字鮎貝字内町二3284番4 外1筆(内町通り中央)	17,400	18,700	-7.0
大字鮎貝字神明六2886番2 外3筆(北海道あけぼの食品付近)	13,000	14,300	-9.1
大字黒鴨字澤入2132番18 外2筆(山林)	41	45	-8.9

平成17年度 地価調査結果について

9月21日に県から平成17年度地価調査結果が公表されましたが、本町に関するものは、次のとおりです。

◎地価調査とは

地価調査とは、県内全市町村を対象として、各地域で基準となる土地(これを基準地といいます)を選んで、その適正な土地価格を公表するもので、土地を売買する際のもので、地価調査価格は、国・地方公共団体等が公

がわかりますので、土地売買のときには、まず地価調査価格をお調べください。地価調査の基準地は、皆さんの身近なところにあります。
なお、地価調査価格は、7月1日現在の価格ですので、その後の地価動向も考慮する必要があります。

◎地価調査結果については町役場で簡単に閲覧できます。

地価調査の基準地価格、基準地が接する道路の種類・幅員、基準地の周辺の土地利用状況などを詳しく記載した地価調査の関係書面は、町役場及び県庁で、誰でも簡単に閲覧できるようになっています。

◎一定面積以上の土地については売買等の取引をする場合は届出が必要です。

◎土地売買のときは、まず地価調査価格を調べましょう。
売買の対象となる土地の条件(土地の形状、道路の条件、最寄駅からの距離、上下水道の整備状況など)を基準地の条件と比較すれば、およその適正な価格

市街化区域は2000㎡、市街化区域以外の都市計画区域は5000㎡、都市計画区域以外の区域については1万㎡以上の土地の売買等を行う場合は、一定の区域を除いて、契約を結んだ後2週間以内に届出が必要です。買い主が必ず町(政策改革課)に届け出てください。

「熱き血潮の画家」の絵が今も色鮮やかに 梅津五郎作品展



9月28日から10月2日まで、山形美術館で、本町出身の洋画家、故梅津五郎画伯の作品展が開催されました。町に寄贈いただいた絵画を中心に106点もの作品が展示されました。初日のオープニングセレモニーでは、孫でソプラノ歌手の梅津香織さんが「祖父に捧げる歌」2曲を披露し、時折画伯の自画像を見つめて歌う姿が印象的でした。会期中、遠くは首都圏からのファンも駆けつけ、約1500人の来場者となりました。

白鷹の秋を発信 第29回白鷹鮎まつり



9月23日から25日まで、ヤナ公園において、白鷹鮎まつりが開催されました。今年もたくさんの味覚、町内グループの踊り、ライブなど、魅力満載の企画で行われました。2年目の環境に配慮したPPパックもお客様の理解が得られてきました。初日は午後から気温も上がり、ヤナ場で水遊びをする子どもたちの姿も見られました。雨にも見舞われた日もありましたが、2万人の来場者でにぎわいました。

農業の喜びも収穫 「田んぼの学校」稲刈り体験



9月21日、鮎貝小学校の5年生が「田んぼの学校」の稲刈りを体験しました。同校が食農教育の一環として、鮎貝堰土地改良区の皆さんの指導をいただきながら取り組んでいるもので、今年5月に田植えを行いました。この日はヒメノモチをかまを使って刈り取り、丁寧にわらで束にしました。手で刈りはもちろん、稲刈り自体が初めてという児童も多くいましたが、改良区の皆さんとともに終始笑顔の絶えない作業でした。

深山の郷の味と技 しらたか伝統工芸の村まつり



9月24日、25日、深山地区で第14回となるしらたか伝統工芸の村まつりが開催されました。地区のみなさんと町内で活躍する工芸者が中心となって、地場の味覚、自慢の技を披露し、地域づくりから田舎の魅力をアピールしようと毎年行われています。今年は人気の魚のつかみどりが復活し、子どもたちでにぎわいました。もちつきや新たに参加した工芸者の実演もあり、白鷹深山の自然と文化を実感した2日間でした。

ボランティア ありがとうの心で

9月3日、白鷹ライオンズクラブ（会長 小嶋金作さん）より、フラワー長井線鮎貝駅自転車置場などのペンキ塗りをしていただきました。同社 会福祉環境保全委員会（山口 伊勢雄委員長）が中心となり、錆びが目立ってきていた柱などが塗り替えられ、とてもきれいになりました。
ボランティア活動たいへんありがとうございました。





白鷹学講座パート4
「小松伸子 心を育むソプラノリサイタル」

10月2日、ハーモニープラザにおいて、「小松伸子心を育むソプラノリサイタル」が開催されました。小松さんは、長井市在住の音楽家です。ススキやコスモス・満月で演出されたステージで、「四季・秋」「家族」「ふるさと」をテーマに、童謡や石川啄木の短歌などをピアノの演奏にのせて歌われました。美しい日本語を歌う透きとおった伸びやかな歌声に、訪れた200人の観客は温かな雰囲気にも包まれました。



交通事故や詐欺の被害に「ご注意」ください
高齢者世帯訪問事業

9月28日、お年寄りの安全な生活を守ろうと、高齢者世帯訪問事業が行われました。これは、交通安全母の会が主催したもので、交通安全母の会、交通安全協会、防犯協会などから30人が参加。5人1組6班に分かれて、東根地区66戸、荒砥・十王地区66戸の高齢者世帯を回り、交通事故防止や振り込め詐欺被害の防止を呼び掛けました。

第55回山形県
統計クラフコンクール

主催／山形県統計協会

- 入選 「白鷹山はみんなの宝」
- 佐藤 大和（鷹山小4年）
- 紺野 暉（同4年）
- 小関 圭樹（同5年）
- 竹田衣武希（同6年）
- 紺野 好香（同6年）



●学校賞・特別賞

鷹山小学校

*県のコンクールで入選以上の作品16点が全国コンクールに出品となり、本町からは鷹山小5年の作品「白鷹山はみんなの宝」が出品されます。

第39回置賜地区
統計クラフコンクール

主催／置賜地区統計調査員連合会

- 入選 「白鷹山はみんなの宝」
- 佐藤 大和（鷹山小4年）
- 紺野 暉（同4年）
- 小関 圭樹（同5年）
- 竹田衣武希（同6年）

- 紺野 好香（同6年）
- 佳作
- 「夏休みのお天気しらべ」
- 梅津香穂（東根小2年）

第13回東北学生駅伝対校
選手権大会

9/23スポーツ公園及び周辺コース
▼男子（8区間71キロ）

- 1位 東北福祉大学
- 2位 東北学院大学
- 3位 東北大学

14校参加

▼女子

- 1位 東北学院大学
- 2位 東北大学
- 3位 富士大学

13校参加

*男子の1位、2位、女子の1位チームは東北代表として、11月の全国大会に出場します。



ボランティア
ありがとうの心です

白鷹東中生徒が奉仕活動

9月16日、東中学校の1年生が、中央公民館と荒砥地区公民館に分かれて、奉仕活動を行いました。中央公民館では、1階から3階までのガラスを磨いたり、図書館で保管している新聞の搬出作業を行っていたいただきました。荒砥地区公民館では、広場の石拾いや草むしりなどを行っていただきました。ありがとうございました。このような中学生たちの奉仕の心を忘れず、きれいに施設などを使っていきなすたいものです。





入賞おめでとうございます

第40回白鷹若鮎マラソン大会

9月18日(日) 日本陸上競技連盟公認コース (飯豊小学校スタート・ゴール)

完走者795人

ハーフマラソン 一般の部

1位	土屋 勉	米沢市	1:15:31
2位	大島拓郎	新潟県新潟市	1:15:57
3位	秋野文宏	新潟県新潟市	1:21:23
4位	細谷直樹	天童市	1:22:27
5位	鈴木耕太郎	米沢市	1:25:19
6位	柳沼久司	福島県三春町	1:27:10

10マイル 一般の部

1位	坂井正則	鶴岡市	56:31
2位	長岡輝喜	朝日町	57:43
3位	伊藤利史	白鷹町	58:02
4位	駒津普司	長井市	1:01:01
5位	岩田安司	中山町	1:06:15
6位	佐藤伸二	山形市	1:08:43

10km 高校の部

1位	工藤広靖	鶴岡工業高校	33:21
2位	佐藤雅史	鶴岡工業高校	35:55
3位	阿部 航	鶴岡工業高校	36:13
4位	松村朋幸	鶴岡工業高校	36:49
5位	木村文昭	山形県上市市	40:52

10km 高校の部 (団体)

1位	鶴岡工業高校	2:22:18
----	--------	---------

10km 一般の部

1位	町田道昭	天童市	33:18
2位	加藤善宏	鶴岡市	33:34
3位	志田 学	山形市	34:16
4位	阿部和幸	山形市	34:56
5位	矢ノ目芳実	天童市	36:56
6位	猪股智史	天童市	37:02

5km 中学男子3年の部

1位	加地史明	米沢第四中学校	17:17
2位	菅野駿之介	米沢第四中学校	17:27
3位	渡辺亮祐	白鷹東中学校	18:04
4位	橋本一馬	白鷹東中学校	18:07
5位	四釜靖之	長井南中学校	18:09
6位	渡部諒太	飯豊中学校	18:13



5km 中学男子3年の部 (団体)

1位	白鷹東中学校	1:54:01
----	--------	---------

5km 女子の部

1位	井上史子	真室川町	19:25
2位	荒川真木子	神奈川県鎌倉市	20:50
3位	須貝あや子	小国町	22:20
4位	相馬けい子	宮城県仙台市	23:00
5位	片桐多栄	天童市	23:17
6位	多田恵子	東京都町田市	23:35

5km 壮年男子の部

1位	大滝茂幸	南陽市	18:18
2位	竹田雅量	白鷹町	18:36
3位	伊藤正則	鶴岡市	19:28
4位	金田敏春	白鷹町	19:42
5位	片平 仁	南陽市	19:45
6位	小林幸一	白鷹町	20:05

3km 中学男子1・2年の部

1位	伊藤将太	米沢第四中学校	9:38
2位	高橋怜史	米沢第四中学校	10:09
3位	紺野 凌	白鷹東中学校	10:09
4位	佐藤 誠	米沢第四中学校	10:30
5位	安部力矢	小国陸上スポ少	10:32
6位	内山富夫	米沢第四中学校	10:40

3km 中学男子1・2年の部 (団体)

1位	米沢第四中学校	1:03:51
2位	白鷹東中学校	1:10:46
3位	白鷹西中学校	1:10:47

3km 中学女子の部

1位	信夫香織	白鷹西中学校	10:46
2位	鈴木麻由美	白鷹東中学校	11:21
3位	大沼美穂子	長井南中学校	11:26
4位	木村このみ	米沢第四中学校	11:30
5位	神戸繭子	長井南中学校	11:59
6位	小澤衣里	山形第六中学校	12:02

3km 中学女子の部 (団体)

1位	長井南中学校	47:57
2位	白鷹西中学校	48:40
3位	山形第六中学校	48:53

2km 一般の部

1位	伊藤博文	飯豊町	8:22
2位	迎田 彰	白鷹町	8:24
3位	長岡 満	白鷹町	8:41
4位	濱田真一	上市市	8:53
5位	嵐田孫蔵	南陽市	9:17
6位	前田延文	白鷹町	9:27

2km 小学1年の部

1位	荻野雄輝	山形第六小学校	9:57
2位	斉藤 上	東根小学校	10:01
3位	新野拓哉	東根小学校	10:23
4位	菅原 駿	東根小学校	10:27
5位	大泉 彩	柴橋小学校	10:27
6位	大滝翔平	鮎貝小学校	10:32

2km 小学2年の部

1位	村上魁人	東根小学校	9:05
2位	竹田裕道	鷹山小学校	9:13
3位	長岡拓海	鮎貝小学校	9:21
4位	鈴木周作	平野小学校	9:39
5位	佐竹英明	荒砥小学校	9:43
6位	梅津香穂	東根小学校	9:49

2km 小学3年の部

1位	長沼大智	米沢北部小学校	8:07
2位	神保智之	沢ノエ7陸上クラブ	8:26
3位	庄子晃平	桜田小学校	8:26
4位	猪俣幸広	米沢東部小学校	8:38
5位	菅間侑史	東根小学校	8:49
6位	渋谷一喜	荒砥小学校	8:58

2km 小学4年の部

1位	大泉 南	柴橋小学校	8:12
2位	小林駿也	北谷地小学校	8:23
3位	村上駿斗	東根小学校	8:25
4位	片山鷹士	蚕桑小学校	8:27
5位	桐生康平	平野小学校	8:29
6位	奥山貴博	荒砥小学校	8:34

2km 小学5年の部

1位	高野 光	鮎貝小学校	7:28
2位	押切啓介	荒砥小学校	7:41
3位	佐藤剛士	蚕桑小学校	8:00
4位	高橋宏充	東根小学校	8:02
5位	遠藤史也	蚕桑小学校	8:06
6位	高橋祐太	東根小学校	8:10

2km 小学6年の部

1位	澤浦将光	荒砥小学校	7:03
2位	後藤龍太郎	飯豊第一小学校	7:07
3位	紺野圭汰	鷹山小学校	7:20
4位	奥山貴晶	荒砥小学校	7:41
5位	平吹将大	東根小学校	7:50
6位	赤間宏太郎	鮎貝小学校	7:53

新たな「白鷹町ふるさと交流大使」をご紹介します

町制施行50周年を記念して10人のかたを大使に委嘱申しあげて、1年が経過しました。この間、大使の皆さまには、まちづくり情報の発信や提言、町産品の紹介、イベントへの支援など、広範にわたってご活躍をいただいております。

このたび、10月1日付けで、新たに2人のかたを「白鷹町ふるさと交流大使」に委嘱申しあげましたのでご紹介します。白鷹町応援団として多様な視点や知識でご支援いただくとともに、町民との交流を深めていただくことを期待申しあげます。

田勢康弘さん

日本経済新聞コラムニスト
白鷹町蚕桑出身
ジャーナリストとして国内外で活躍されており、白鷹学講座など、多くの機会に講演をいただき、まちづくりに示唆をいただいております。



布川文雄さん

NEC公共ネットワークソリューション事業統括マネージャー
白鷹町鮎貝出身
白鷹町情報産業拠点施設の運営支援等、本町の産業振興に貢献していただいております。



ごあいさつ

僕はトーマス・マクレガーです。
白鷹町の新しい英語の先生です。
アメリカ人です。
アリゾナ州のフェニックスから来ました。
ランニングとハイキングとキャンプ。
それから本を読むことが好きです。
日本の食べ物で好きなものは、なす漬けと刺身です。

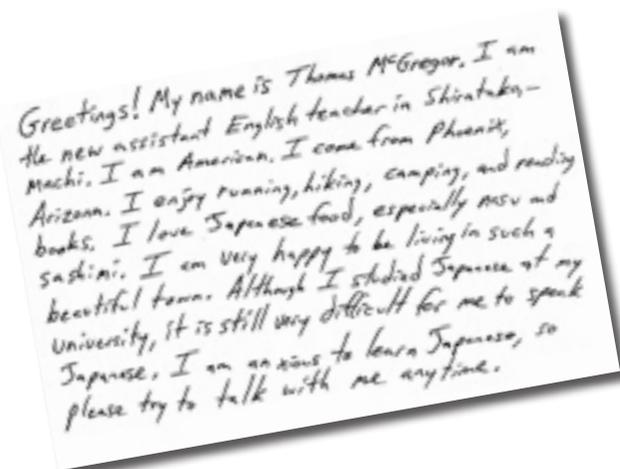
僕はこのような美しい町に住むことができるととても幸せです。

大学で日本語を勉強しましたが、まだ下手くそです。

日本語を習いたくて習いたくてしかたがありません。

僕を見かけたら気軽に声をかけてください。

日本語訳：トーマス・マクレガー



平成2年に始まった「語学指導を行う外国青年招致事業」(通称：JETプログラム)が、今年で15年目を迎えます。この事業により来日した英語指導助手(ALT)は、中学校の英語授業や小学校の総合的な学習の時間に関わるなど、子どもたちに生きた英語と文化を伝えてくれます。

今年7月、新しいALTとしてトーマス・マクレガーさんが来町されました。

白鷹町のALTとしてちょうど10人目になります。トーマスさんは、壮大なグランドキャニオンが有名なアリゾナ州出身の23歳(男性)です。今回初めての来日ですが、日本語をはじめ、日本の文化を学ぶことにとっても意欲的なスポーツマンです。町民のみなさんとたくさん話しをしたいと語っていますので、トーマスを見かけたら気軽に声をかけてください。

ひとりでねば。トーマス・マクレガーです。

新しいALTのご紹介

白鷹版 元気塾 〈子ども編〉

元気ニコニコ しらたか21

子どもはからだの発育、精神的発達ともに旺盛です。将来のためにも、質・量ともに十分な食事をバランスよく食べることが大切です。とくに、これから骨や肉をどんどんつくらなければならない子どもたちにとって、カルシウムの不足は深刻です。

血液中のカルシウムが不足すると、必要なカルシウムを骨から吸収しようとするため、骨の成長に悪影響を及ぼします。豊かな日本で平均的な摂取量が水準に達していないのがカルシウムです。健康づくり推進員が地域に伝達しているカルシウムをおいしく摂取できるレシピを紹介します。

幼児期のカルシウム栄養所要量(一日)は500mgです。

☆ししゃものごま揚げ☆

<材料 1人分>カルシウム180mg

ししゃも2尾、小麦粉3g、パン粉3g、卵3g、
白ごま1g、黒ごま1g、粉チーズ3g、油3g、
レモン5g、サラダ菜2g、ソース3g、ミニトマト1個

<作り方>

- ①ししゃもに小麦粉・卵・ごまとチーズを混ぜたパン粉を順番にまぶして油で揚げる。
- ②器にサラダ菜・トマト・うす切りのレモンと一緒に盛り付ける。



「元気ニコニコ推進会議」 掲示板

いろいろな場所で目にするようになった『禁煙』という文字。たばこの煙は周囲の人へも悪影響(受動喫煙)を及ぼします。推進会議では、みんなが健康になるために役に立つ情報を発信していきます。今回は禁煙に取り組んでいる企業・団体・個人のかたを募集します。自薦、他薦は問いません。健康推進係(☎86-0210)までご連絡ください。



元気ニコニコなるほど情報局

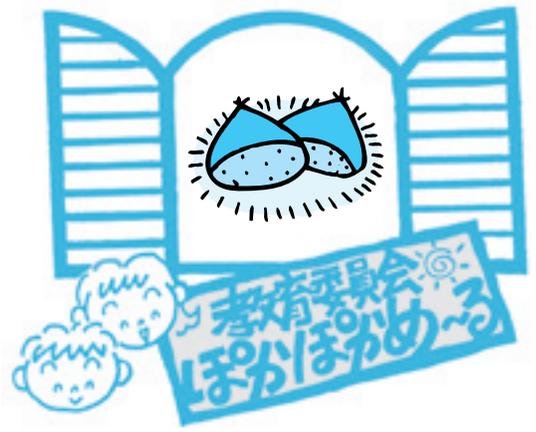
.....〈生活リズムと成長〉.....

どの年代でも重要視される生活リズムは、生活習慣病予防の鍵となります。そのなかでも、子どもの発育に欠かせない成長ホルモン(骨の成長を促し、また筋肉でたんぱく合成を促進するなど)は、生活リズムでも睡眠と大きな関連があります。大脳が休む(ノンレム睡眠)と同時に促進され、「寝る子は育つ」とはまさにこのこと!

また、人間の本来持っている1日の周期は25時間といわれ、それを地球の1日24時間に合わせるために、体内時計を1時間早めるリセットボタンを毎日押さなければなりません。それに関係するのがメラトニンというホルモンで、これも睡眠と大きな関連があります。暗いところでは分泌量が増加し眠くなり、光を感じると減少し眠くなくなるのです。

- 朝きまった時間に太陽の光を浴びよう!
(早起きしよう)
- 昼間、なるべく外に出よう!
(外で元気に遊ぼう)
- 毎日できるだけ人とふれあおう!
- 規則正しい時間に食事をとろう!
- テレビやゲームの時間は短めに!





学校紹介

山形県立荒砥高等学校

9月6日、20日、公開研究授業を行いました。「生徒がしっかりと学習に取り組んでおり、今までの荒高のイメージとは全く違う」という感想が寄せられるなど、一歩一歩着実に学校内外の雰囲気が変わってきているのを感じます。

これからも、地域から愛される荒高を目指し、学校課題の改善と魅力づくりに取り組みます。現在の荒砥高校の様子を紹介します。

◆秋季地区大会

9月10、11日、置賜地区新人大会が行われました。パレ

ス松風テニスコートを会場としたテニス競技では、女子ダブルスで金田・菅間組が優勝を果たし、本校に8年ぶりの優勝カップを持ち帰りました。女子団体は決勝で最終組フルセットにもつれ込む熱戦の末、第2位となり、男子団体も3位でした。さらに、男子ダブルス2・3位、女子ダブルス3位、女子シングルス2・3位という大活躍で、「テニスの荒砥」復活を印象づけました。



◆職場体験学習

9月21～28日（土日を除く5日間）、2年生の職場体験学習が行われました。町内24の事業所で1～6名ずつの生徒がお世話になり、みな真剣に取り組まれました。なかには、あいさつや作業などが思うよ



◆就職試験開始

9月16日から就職試験が始まっています。全国的には求人倍率の上昇が報じられていますが、西置賜地区に限ると求人数が前年比25%の大幅減（8月末）という厳しい状況です。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

不燃物から発火！

9月8日、鮎貝地区内において回収された「不燃物」がパッカー車の中で発火するという事件がありました。原因物は特定できませんでしたが、一昨年モガス抜きされていたというスプレー缶からの発火があり、今回も同様ではないかと見えています。幸いに、今回は消火器ですぐに鎮火することができましたが、ひとつ間違えば重大事故に発展する危険性もありました。

スプレー缶のガスは抜く、使い捨てライターは分解してから、発火する可能性のあるものは適切な処理を行ってから廃棄するようお願いいたします。
*発火物の処理など、わからない場合はご相談ください。

環境コーナー

ペットボトル・びんのごみ処理について

最近、洗っていないペットボトル・びんがよく目立ちます。洗っていないペットボトルは可燃物、びんは不燃物として処理されてしまいます。リサイクルを推進するためにも、きちんと洗って集積所に出すようお願いいたします。

10月は不法投棄パトロール強化月間です。

ごみをみだりに捨てるなど処罰されます。モラルの輪を広げ不法投棄を撲滅しましょう。
○不法投棄110番電話／
☎0238-26-6034
（置賜総合支庁環境課内）
なお、不法投棄110番電話は強化月間のみでなく、常時開設しています。

■問い合わせ 町民税務課
くらし・環境推進係（☎85-6131）

INFORMATION

情報

あらかると

役場は ☎85-2111



元気ニコニコ健康まつり

みんなで、健康な暮らしを目指しましょう！ぜひ、おいでください。

▼いつ 11月13日(日) 午前9時30分～午後3時

▼どこで 健康福祉センター

▼テーマ 「みんなでつくる健康な町！言葉と心がかよい合う、豊かな町を目指して」

▼内容

「人生いつもありがとう」元NHKアナウンサー

吉川精一さん (午後1時30分～午後3時)

元気ニコニコ子ども大集合

①「保育園児の手話と歌」ほか (午前10時～昼12時)

②「げんき弁当コンクール」 (午前10時～午後3時)

ふれあいを大切にしよう

①「健康づくり推進員しらかの食の暦展示試食売店コーナー」

②「福祉施設売店」(午前10時～午後3時) 温かいうどん・伝統食づくり

③「健康チェックコーナー」

・血圧、体脂肪測定

・体力測定

・マイクロスモカーライザー (喫煙度測定)

・骨密度測定

・歯ピカ隊ブラッシング

④「元気ニコニコしらたかコーナー」

健康な暮らしのための提案をします。

■問い合わせ 健康福祉課健康推進係 (☎86-0210)

白鷹町総合防災訓練

▼いつ 10月23日(日) 午前8時30分～昼12時

▼どこで 蚕桑小学校付近

▼内容 防災防犯訓練、初期消火訓練、水防訓練、炊き出し訓練など

▼各地区秋季消防演習

○蚕桑地区 10月23日(日)

○鮎貝地区 10月16日(日)

○荒砥・十王地区 10月23日(日)

○鷹山地区 10月15日(土)

○東根地区 10月23日(日)

○午後1時～

*当日、ポンプ車のサイレンが鳴ります。火災と間違わないようお願いします。

■問い合わせ 役場総務課生活安全係 (☎85-6122)

子どもたちの食べている給食を食べてみませんか

学校給食共同調理場と給食を広く皆さんに知っていただくために、もう一度懐かしい給食を食べてみたいかたや興味のあるかた、来年1年生になるお子さんをお持ちの保護

者のかたを対象に実施します。

▼いつ 11月6日(日) 午前11時～昼12時

▼どこで 学校給食共同調理場

▼定員 30人程度

▼申込方法 電話かファックスでお申し込みください。

▼会費 300円

▼しめきり 10月24日(月)

■申込・問い合わせ 学校給食共同調理場 (☎85-3136、FAX 85-3122)

第29回白鷹町農業祭

大自然の恵みに感謝して今年も農業祭を開催します。お得な白鷹牛肉、農産物や資材などの販売も行います。ぜひ皆さんおいでください。

▼いつ 10月30日(日) 午前9時30分～午後3時(小雨決行)

▼どこで JA白鷹支店及びグリーンセンター前広場

▼内容

①農産物直売フェア

②「もちつきだうい」

*町内保育園児のみなさんをもちつきにご招待しています。

③そばまつり

④玉こんにやくサービス

*直売店でお買い物ごとに抽選券配布

■問い合わせ JA白鷹支店 (☎85-2121) 産業振興課農業振興係 (☎85-6127)

愛染明王例祭

▼いつ 11月1日(火) 午前11時30分

▼どこで 瑞岩寺(箕和田)

▼参加費 1000円(お札、供物含む)

*愛染明王堂での法要は、事務局のみで行ないます。

■申込・問い合わせ 白鷹町観光協会 (☎86-0086)

フラワー長井線まつり

日ごろのご利用に感謝して、各駅特色あるイベントを企画し皆さまをお待ちしています。

お誘い合せのうえ、ぜひ会場にお越しください。

▼いつ 10月22日(土) 午前10時～午後2時30分

▼どこで 荒砥駅、長井駅、宮内駅、各駅構内

▼内容

①荒砥駅

荒砥高校吹奏楽演奏、よさこいソーラン、ミニSL運行

・試乗、モーターカー(ラッ



大かまきり

3歳 「せんせい おかま！」
保育士 「え？せんせい女だよ」
3歳 「？？？」

手には大きなかまきりを持っていた

トレーニング

保育士 「OOくん、やせたね」
男の子 「うん！ほく、いまドレッシ
ングしてんだ」
と駆けていった。

荒砥祭の1週間

セル車) 試乗、各種売店(駅前町内会、駅協力会ほかによるおいしいもの)
②長井駅
長井高校・長井工高・長井小学校吹奏楽演奏、電動カート、平山獅子踊り、軌道自転車試乗、各種売店(地元商店ほか)
③宮内駅
平山獅子踊り、南陽高校吹奏楽演奏、よさこいソーラン、ミニSL運行・試乗、各種売店(地元商店ほか)
④当日終日ワンコインデイ(全線片道100円)
*FNの会々員のかたは当日無料です！(会員証をご提示ください)
▼臨時列車時刻
下り臨時列車を運行します。
赤湯駅発 午前9時48分
宮内駅発 午前9時54分
長井駅発 午前10時20分
蚕桑駅発 午前10時31分
鮎貝駅発 午前10時35分
荒砥駅着 午前10時39分
*各会場で、フリーマーケットの出店を募集します。
■申込・問い合わせ 山形鉄道総務課(☎88-20002)

▼いつ 10月21日(金)〜22日(土)
▼どこで 中央公民館・荒砥高校
▼テーマ 覇天荒〜今こそパワーをみせてやる!!
▼スケジュール
①21日 午前9時40分〜11時30分(会場 中央公民館)
合唱コンクール、吹奏楽部発表
②22日 午前10時〜午後2時30分(会場 荒砥高校)
文化部・委員会・クラス・PTA企画展示、模擬店
■問い合わせ 荒砥高等学校(☎85-2171)
置賜農業高校 創立110周年記念式典・講演会
▼いつ 10月29日(土) 午後1時〜午後3時15分
▼どこで 置賜農業高等学校 体育館
▼内容
①記念式典
②講演「出会い」
講師 原田めぐみさん(南陽市出身・アテネオリンピック出場)
*多数ご参加ください。
■問い合わせ 同窓会事務局(☎0238-42-2101)

置賜地域松くい虫防除対策研修会

▼いつ 11月22日(火) 午後1時〜4時
▼どこで ぬくもりの館姫城
▼対象 松林所有者等地域住民、地域の松林保全団体ほか
▼研修内容
①松くい虫被害のメカニズム
②松くい虫被害の防除方法(樹幹注入の仕組み解説及び使用実習)
③ナラ類の集団枯損について
▼講師 ヤシマ産業(株)東北営業所 新垣 篤さん ほか
▼しめきり 11月18日(金)
■申込・問い合わせ 置賜総合支庁西置賜森林整備課(☎88-5111)
アルストロメリアフェスタ inおきたま
やまがたフラワーフェスティバルの一環として行われます。
▼いつ 10月29日(土) 午後1時30分〜5時30分
▼どこで 米沢市営体育館
▼内容
①フラワーアレンジデモンストラーション

世界的フラワーアーティスト エリー・リンさん
②パネルディスカッション「アルストロメリアの今後の展望について」
③おきたまオリジナル品種の発表
▼主催 山形おきたま農業協同組合・花卉振興会・アルストロメリア振興部会
▼共催 やまがたフラワーフェスティバル2005実行委員会・山形県花き生産連絡協議会
■問い合わせ JA山形おきたま 生産販売部園芸課(☎0238-57-4793)
ひきこもりに関する講演会
社会的関心が高まっている「ひきこもり」への理解を高めるための講演会を開催します。
▼いつ 10月29日(土) 午後2時〜午後4時15分
▼どこで 置賜総合支庁2階 講堂(米沢市)
▼内容
講演「引きこもり問題に取り組んでー展望と課題ー」
講師 全国引きこもりKJH親の会 代表 奥山雅久さん
▼対象 ひきこもりでお悩み

のご家族・ご本人、ひきこもりに関心を持っていらっしゃるかた

▼参加料 無料(事前申し込み必要)

▼しめきり 10月19日(水)

■申込・問い合わせ 置賜保健所地域保健予防課精神保健福祉担当(☎0238-22-3015)

地域ケアサービスリーダー養成研修会

福祉NPOのボランティアリーダーの養成を目的として実施します。

▼いつ 10月15日(土)午前9時〜午後3時30分

▼どこで 置賜生涯学習プラザ(長井市)

▼カリキュラム ①基調講演、②体験報告、③軽運動、④分科会、⑤全体会

▼主催 地域ケアサービスリーダー養成・育成研修実行委員会

▼申込先 NPO法人まごころサービス長井(☎84-6848)

▼その他 福祉NPOの相互交流を目的にしたシンポジウムを11月下旬に開催予定です。

■問い合わせ 置賜総合支庁福祉課(☎0238-26-6027)

027)

多様な働き方を考えるセミナー

▼いつ 10月21日(金)午後1時15分〜午後4時

▼どこで ホテルキャッスル(山形市)

▼主催 山形労働局、山形県21世紀職業財団山形事務所、雇用・能力開発機構山形センター

▼内容

①講演「これからの雇用管理を考える〜ワーク・ライフ・バランスを目指して〜」

②事例発表「パートタイム労働者の雇用管理について」

③行政説明「今後における労働時間の短縮のあり方について」

▼対象者 企業の人事労務担当者、関心のあるかた(先着100人)

■申込・問い合わせ 山形県商工労働観光部雇用労政課(☎023-630-2377)

食品標示地域フォーラム

食品表示に関係する消費者

・生産者・流通業者を交え、食品のあるべき姿を考えると同時に「わかりやすい表示」

の推進に向けたフォーラムです。

▼いつ 10月27日(木)午後1時30分〜午後4時

▼どこで 山形テルサ(山形市)

▼内容 ①基調講演 日本獣医畜産大学応用生命科学部 沖谷明紘教授

②パネルディスカッション

▼定員 300人

▼参加費 無料

■申込・問い合わせ 東北農政局山形農政事務所(☎023-622-7231)



白鷹町蚕桑袖パーク屋内運動場・冬期利用について

冬期(12月〜3月)の利用

申込を受付します。なお、冬期間の利用に関しては、町内団体を優先とします。

また、申込期間終了後、利用調整会議(後述)を開催しますので、ご出席ください。

▼申込期間 10月17日(月)〜28日(金)

▼申込方法 指定様式によりお申し込みください。(教育委員会に備え付け)

*昨年度冬期利用実績のある団体には様式をお送りします。

▼いつ 11月10日(木)午後7時

▼どこで 中央公民館大ホール

▼対象 町内利用申込団体(各団体代表1人出席ください。)

*なお、申込期間中に必要書類の提出がない場合は、利用調整会議に参加できませんのでご注意ください。

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)

町民グラウンド・ゴルフ大会参加者募集

▼いつ 10月29日(土)午後1時〜(小雨決行)

▼どこで 白鷹町スポーツ公園

▼参加資格 町内在住または勤務し、グラウンド・ゴルフの愛好者でルール・マナーを把握しているかた

▼参加費 500円(申込時持参)

▼定員 先着80人

▼しめきり 10月22日(土)

■申込・問い合わせ 白鷹町グラウンドゴルフ協会/担当 遠藤(☎85-2281)

平成18年度山形県産業技術短期大学校推薦入学学生募集

▼募集人員

メカトロニクス科 10人

情報管理システム科 15人

情報制御システム科 15人

建築環境システム科 10人

▼試験日 11月6日(日)

▼出願期間 10月17日(月)〜10月28日(金)

■問い合わせ 山形県立産業技術短期大学校入試事務局(☎023-643-8431)



家庭の省エネチャレンジキャンペーン

節電してすてきな賞品が抽選で当たります。

▼対象 山形県内在住のかた

▼参加方法

①参加登録（申込受付 11月30日（水）まで随時）

②節電に挑戦

節電期間 10月15日（土）～12月31日（土）

③応募 期間中で一番減った月の電気の検針票を送る。

*早く参加を申し込んで、節電をすればチャンスは拡大します。

*詳しい参加方法や賞品はホームページ（<http://eny.jp/>）をご覧ください。

■申込・問い合わせ 山形県地球温暖化防止活動推進センター（☎0237-5213320）

10月は労働保険適用促進月間

労働保険制度は、労働者が業務上・通勤途上で被災した場合に必要な保険給付を行ったり、失業した場合に必要な保険給付を行うなど、職場の安全、雇用の安定のために重要な制度です。

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。加入手続きをされていない事業主のかたは速やかに手続きください。

*労働保険Ⅱ労災保険と雇用保険を総称した強制保険

■問い合わせ 山形労働局労働保険徴収室（☎023-624-8225）または最寄りの労働基準監督署、公共職業安定所

山形県最低賃金の改正について

10月1日から山形県の最低賃金が改正されました。この最低賃金は、県内すべての労働者と使用者に適用されます。

▼最低賃金 1時間610円（現行607円）

■問い合わせ 米沢労働基準監督署（☎0238-2317120）

「国の教育ローン」の案内

▼対象者 高校、短大、大学、専修学校などに入学・在学されるかたの保護者（年収制限があります）。

▼融資金額 学生・生徒1人につき200万円以内

▼返済期間 10年以内

▼利率 年1・65%（平成17年5月10日現在）

■申込・問い合わせ 国民生活金融公庫米沢支店（☎0238-21-5711）

11月のパソコン講習会

期日	時間	講習会	内容	受講料
11月2日(水) 4日(金) 7日(月)	午後7時～9時 (合計6時間)	パソコンの基本と文字入力コース	パソコン初心者コースです。パソコンに一度も触れたことがない。文字も入力できない。そんな方の為のコース。パソコンの名称、機能説明からキーボードで文字が入力できるまでを講習致します。	¥3,000
11月9日(水) 11日(金)	午後7時～9時 (合計4時間)	インターネット・電子メールコース	文字入力が多少できる方対象コースです。インターネットの仕組み説明から閲覧の仕方。電子メールではメールを作成し送信、受信の仕方までを講習致します。世界中のホームページを閲覧したり外国とのメールも可能です。	¥2,000
11月14日(月) 16日(水) 18日(金) 21日(月) 23日(水)	午後7時～9時 (合計10時間)	ワードコース	文字入力が多少できる方対象コースです。簡単な案内文章の作成から、図を入れた文章。表を取り入れた文章など、生活で役に立つ文章作成ができるまでを講習致します。	¥3,000

●テキスト代 各コース2,100円前後

*途中で退席しても、受講料、テキスト代は返金できませんのでご了承ください。

●会場 白鷹町総合情報センター（パワーセンター白鷹隣）

【情報センター無料開放日】

毎月第4土曜日 午後1時～4時 インターネットが使い放題！どなたでもご利用いただけます。

■申込・問い合わせ

白鷹町総合情報センター（☎86-0151・<http://www1.shirataka.or.jp/>）

電話番号をお間違いのないようにしてください。

高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

町では、65歳以上のかたと、60歳から64歳までの心臓・腎臓などに障害があるかたのそれぞれ希望者に、次のようにインフルエンザ予防接種を行うことになりました。

①対象者

- 白鷹町に住所を有する65歳以上（接種日において）で接種を希望するかた
- 60～64歳で心臓・腎臓などに障害のあるかた（身体障害者手帳1級程度）で接種を希望するかた

②申込方法 希望する医療機関に、事前に予約してください。

③接種医療機関ならびに期間、料金

実施医療機関	接種料金	自己負担額	町助成額
白鷹町内、長井市内（公立置賜長井病院を含む）の医療機関 *実施期間：10月15日（土）～平成18年1月31日（火）	2,500円	1,800円	700円
公立置賜総合病院 *対象者：現在、外来や入院で治療中の患者さんに限る *実施期間：11月1日（火）～12月28日（水） *申込方法：診察時、主治医に申し出て予約する （予防接種だけのかたは対象外になります）	3,000円	2,300円	
上記以外の医療機関 *実施期間：10月15日（土）～平成18年1月31日（火）	医療機関が所属する市町村の額	接種料金より町助成額を差し引いた額	

* 接種回数 1回

■問い合わせ
健康福祉課健康推進係
(☎86-0210)

「環境にやさしい買物キャンペーン」実施中

お買物の際は、
① 買い物袋を持参する。
② 商品の過剰包装を辞退する。

③ 環境にやさしい商品（詰め替え品、再生素材を使用した商品など）を購入するよう努める。
などを心がけましょう。

私たちのちよつとした行動が環境への負荷を減らすことにつながります。

■問い合わせ 山形県環境企画課（☎023-630-3043）

行政書士をご利用ください

行政書士は、役所などに提出する書類の作成、相談、申請代理等を行います。

許可や認可を受ける場合や、相続や契約をする場合の手続きは、複雑で専門的になり、法律や行政手続きについての知識が必要です。大切な手続きには、行政書士をご利用ください。

▼行政書士の主な業務 農地を宅地にする場合の申請、建設業の許可申請手続き、自動車登録の申請、契約書や示談

書の作成、内容証明書の作成など

■問い合わせ 県行政書士会 長井支部（☎88-9264）、またはお近くの行政書士へ

おわびと訂正

● 広報しらたか9月12日号28ページ「町長随想」で、山形県全体の小・中学生数が「1万6359人」となっていました。訂正したのが「10万6359人」の誤りでした。

● 広報しらたか9月22日号おしらたか版4ページ「総合検診」で、次の予定が抜けておりました。

総合検診（結核・肺がん・基本・胃がん・大腸がん・前立腺がん・肝炎ウイルス）

▼月日 10月28日（金）

▼場所 健康福祉センター

▼対象町内 荒砥地区／上町、

出来町1・2、貝生1・2・

3、東部4

▼受付時間

午前7時30分～午後9時30分

午後1時～2時（胃がん除く）

おわびして訂正いたします。

門脇厚司講演会

- いつ 11月7日(月) 午後7時~9時15分 (開場 午後6時30分)
- どこで パワーセンター白鷹

「子どもの社会力を育てる大人とは地域とは~今自分ができること~」

「社会力」これは門脇先生がつくられた造語で、「人が人とつながって社会を作っていく力」「今の社会をよりよい社会にしていこうと考える姿勢・態度・意欲」と先生は言われます。

昨年9月には、「今 自分たちの社会力を問う」をテーマに、さまざまな人たちと良い関係をつくり普段の生活を楽しくやれること、他者をきちんと理解し自分のことのように受け止めることが大切であること、子どもの社会力を育てること以上に大人の社会力を高めなければならないことなどをお話いただきました。

そこでもう一度先生をお招きして、子どもの社会力を育てるために地域の大人は何をなすべきかを、具体的な事例の紹介を交えてお話いただきます。自分たちが今なにができるのか、ぜひ一緒に考えてみませんか。

門脇厚司先生プロフィール

- 1940年生 立川町出身
- 1970年 東京教育大学大学院(博士課程)修了
- 1991年 筑波大学教授
- 2003年 東京家政学院筑波女子大学学長
- 2004年 筑波学院大学学長(現在)

☆主な図書

- ・『子どもの社会力』(岩波新書)
- ・『大人の条件；社会力を問う』(岩波書店、佐高信氏と共著)
- ・『社会力(生きる力)が危ない!』(学習研究社)
- ・『親と子の社会力』(2003.12刊行 朝日選書)

*入場は無料ですが、入場整理券が必要です。

●入場整理券取り扱い

教育委員会、中央公民館、各地区公民館、パワーセンター白鷹

●定員 200人

●主催 白鷹学企画委員会・白鷹町教育委員会

●共催 白鷹町/山形県市町村自治協会/白鷹町PTA連絡協議会/山形県立荒砥高等学校を考える会

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)

「町報川柳」 目 新野三拍子 選

一題三句はがきにて届先 白鷹町荒砥乙四九四 菊地克二まで	次回課題「生」 十月末日まで 「犬」 十一月末日まで 三拍子	天位 熱くぼく目と目で語る手話弾む	地位 半眠の仏に習い欲を捨て	人位 目の保養 菊人形に母を連れ	〃 節目の日こっそり妻に指輪買う	〃 頂点ばかり見る人間の目が濁る	〃 夕焼けに母が目刺しを焼く匂い	〃 目線替えて見たら違った白と黒	五客 初給料渡し母の目うるませる	〃 闇魔さまにギョロリと嘘を睨まれる	〃 老介護さし出す手にも目がうるむ	〃 節目だな反旗手にする子の育ち	〃 巡り合い一期一会の目がうるむ	〃 目鼻立ちパパ似ママ似を譲らない	〃 嫁ぐ娘に母が持たせた蛇の目傘	〃 目くぼせをして順繰りに席を空け	〃 流行は追わず低目の靴を履く	秀逸 目で見えぬ他人の情けに手を合わせ	〃 目に合図 阿吽の呼吸合う夫婦	〃 目に涙負けず嫌いが悔しがる	〃 目に玉品だけ買いレジに立つ勇氣	〃 目に目盛りに戻り戻り戻り戻り	〃 痛い目に遇って始めて詐欺と知る	〃 ダイエットの目盛り戻り戻り戻り	〃 目を皿に探して歩くきのこ採り	〃 嬉しいがああ目が廻る孫五人	〃 頑固だが孫に目が廻らないお爺ちゃん	〃 目覚ましを三つ置いても起きられぬ	〃 目くじらを立てて禁煙迫る妻	〃 目標に届いたことのない貯金	〃 目騒だ目先を変えて新サギ	佳作 一目惚れそのままふたり五十年
		荒砥乙	畔藤	浅立	足立区	荒砥乙	鮎貝	浅立	鮎貝	世田谷	山口	荒砥乙	高岡	高岡	畔藤	荒砥甲	畔藤	荒砥甲	鮎貝	畔藤	滝野	細野	横須賀	折居	小田原	十王	鮎貝	横須賀	十王	荒砥乙	鮎貝	
		熊坂鷹史	梅津とも	梅津たつ	川村美智子	高橋白兔	植木英夫	小形義三	土屋文香	遠藤八重	渡部喜美子	梅沢草路	長岡みち子	高橋朝子	梅津いと	横山陽子	川井千代	井澤芙佐子	高橋正	堀内芳夫	海老名達夫	安達昭吾	大滝健次郎	海老名きち	井上秀雄	志鎌はる	横沢直太	菊地美芳	川部隆雄	丸山正志	赤間道雄	

戸籍の窓

●9月1日▶9月30日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
菅 秀春	畔藤
片 倉 祐美	箕和田
伊賀 浩二	上市市
齋 藤 千賀子	畔藤
衣袋 良二	荒砥乙
手塚 由紀	南陽市
梅津 大萩	萩野
新野 真紀	畔藤

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
荒砥甲	沼澤 陽美 平子	花 琉
高 玉	菊地 秀冬 憲子	花 瑩
萩 野	梅津 悟由美 せい星	那 ひと
荒砥甲	齋藤 政香 幸織 あき瑛	大 純
高 玉	中川 亜希子 満希子 幸子 好苗 ゆう悠 はる遥	悠 悠
山 口	菅 徳芳 孝早	悠 悠
高 玉	青木	悠 悠

お く や み

住所	氏名	年齢
十 王	加藤 彌太郎	89
荒砥甲	阿部 とり	84
鮎 貝	新野 耕一	81
横田尻	丸川 貞	77
横田尻	田勢 正幸	87
畔藤	川井 たつ	89
荒砥甲	萬年山 重雄	79
荒砥甲	保科 徳藏	87
滝 野	齋藤 直右衛門	81
畔藤	藤佐 直右衛門	81
畔藤	藤衣 美智	78
鮎 貝	横山 せ	86

梅津五郎作品展を見て

山形市在住 鈴木 實 様より

過日開催された「梅津五郎作品展」に対しまして、ご覧いただいたご感想と高い評価のお手紙をいただきましたので、ご紹介いたします。

●橋本町長あてのお便りより

今回の梅津五郎画伯の作品を拝見しました。これほど多くの作品を一度に拝見したのは初めてでした。ほんとに画期的な意義のある事業でした。御地白鷹生まれとは、なんと誉れの高いことでしょうか。白鷹の方々は勿論、山形や東北に住む人々の誇りでもあります。未永く作品を保管し、多くの方に見て頂けるよう念願して止みません。

文学の力も大きいのですが、美術や音楽は直接見て聞いて体全体で感得でき、影響は格段に大きいものがあります。美術館などの施設は、教育ことに子供

の鋭い感受性に訴え、なんらかの作業を喚起し、より水準の高い美的教育をめざすことも可能です。幅広い芸術的分野の生涯教育施設として、活発な文化活動の拠点にすることも可能です。

白鷹は素晴らしい自然美に恵まれています。春は桜、美味しいソバ、やや傾斜する見事な田園風景、地元の人たちの篤い人情、そこに梅津五郎館が建つ。考えてみれば『白鷹』という地名は美しく気高い地名です。

作品展開催本当にありがとうございました。
2005年10月1日
白鷹町町長 橋本光記録

●ご感想文

山形美術館

梅津五郎作品展を見て

とにかくすごい作家だ。会場

入り口より入って一枚一枚見て行くうちに、身体がだんだん熱くなってくる。作家の絵への思いが直に伝わってくるのだ。個性（絵）を見てもそんな感じはめつたにはない。見ていて思い出した。幾年前、福島美術館で関根正二展を見たとき、やはり熱くなり涙が出た。それは祈りのような感動だった。しかしこの絵画は、堂々たる絵画・美術作品として輝いている。若くしてふる里を出て修練したと思うが、これらの絵は東北・東北人の真骨頂を表現している。絵画の原点と云ってもいい。この方は、絶対に人におもねない。描きたいから描く。偉くないた

に表現してゆく真つ正直な創作姿勢を感じる。苦しい態度かもしれない。どこか立派な壁面を飾るためとか、描かれた人のおもわくに配慮する隙間が何処にもない。全く素直に率直に風景と出会い、自分の目で見た風景を自分の中に確実に溶け込ませ、浄化する。そして、絵筆に全部を託して描く。重く鋭い作風である。パンフ表紙の作家の顔を見ると、どうも誰かに似ている。土門拳の目、あの鋭い目つきだ。土門拳は、徹底した写実の写真家として知られているが、その鋭い目と似ている。これらの絵を分類すれば、写実とか具象絵画になるのだろうか、この作家はそんなものには頓着しない。題もついているからその辺を描いたに違いないが、それは作家の内にある。抽象化されたものであつて、だからこそこの絵は見る人を引きつけるのである。

美への強いあこがれ、絵筆を握って一筋に生きる姿が彷彿とす

る。だんだん終いになって、これは梅原龍三郎を超えているなと思う。そして、緑の太陽の絵をみて思わず天才だと思った。この作家の持つすべてをこの絵に描ききつたように思った。一体この作家を育んだ土壌・エネルギーはなんだろうか。田や島や山・川はすでにモザイク的に練られ、竈に入つた土器の如く焼け、そして色彩豊かに仕上げられている。これは正に、縄文の美である。現代の日本の文化は、それを原点に育まれてきている。

彼の故郷は白鷹町浅立生まれとある。大いなる白鷹町の誉れと言える。しかし、これはわが山形、そして東北の生んだ文化・遺産であり、宝だ。より多くの人々に見て貰いたい。そして、未来の人々にとつても希望や夢になっていくと思う。

今回は「町長随想」を休みま

広報しらたかは再生紙を使用しています。